

# 星屑

2013年11月号

No. 464



太陽

2013年10月9日 Tommy 氏撮影

南側に大きなプロミネンスが見られます。

熊本県民天文台

**9/13(金) こちらから提案して、開催が実現しました**

## **託麻南小 4年生 星の観察会**

**250名を超える参加者が月を観察**

**県立大天文部の学生さん9名が 運営にチャレンジ！**

熊本県環境センターの環境教育指導者派遣事業を活用しました



### **大規模校ですから**

託麻南小4年生の「星の観察会」は参加者の総数250名超で、大賑わいでした！ 内訳は、小学4年生：107+α、保護者と家族120名+α、教職員9名、県立大天文部の学生さん9名。集合場所になった体育館は、参加者でいっぱい。小学校への出張開催は毎年数回程度を実施していますが、これほどの規模で開催するのは久しぶりのことです。

最初のうちは雨が降りそうな雲が広がっていて、天文台から持参した望遠鏡C-11（28cmシリカセ）と12cm屈折とを組み立てたあと、望遠鏡に大きなビニール袋を被せたり、C-11の鏡筒をはずしかかたりと大騒動。でも、途中で雲が切れ始めて、無事に望遠鏡で上弦の月を見ることができ、皆さん大満足だったようです。「望遠鏡で月を見るのは初めて！」「すごい！！！」なんて歓声がたくさん上がっていました。

### **スタートは体育館で**

開会行事と挨拶、県立大天文部の部長さんも、どうして託麻南小で「星の観察会」をやることになったか、そのいきさつを話して下さいました。

しかし、とても蒸し暑いのに、体育館に250名もの人たちが集まつたのですから、開会行事と解説を続けるのは大変でした。堪らず窓を開け放つてもらったら、コウモリが飛び込んできたし・・・・。それでも、惑星探査機ボイジャーが太陽系を離脱したとNASAが発表したこと、翌日(9月14日、土曜日) イプシロンロケットが内之浦の発射場から打ち上げられること、などを説明。星座早見盤の使い方を解説するところまで、体育館で頑張りました。

### **外の様子はどうだろう？**

あまりにも蒸し暑いので体育館でやるのはそろそろ限界だと感じて、県立大天文部の部長さんに外の様子を偵察してもらったら、「雲が多くて星は見えないが、月は見えている」とい

う報告。それなら、後は外でやりましょうと、全員校庭に移動してもらいました。

この日はちょうど上弦の月、12cm屈折では低倍率で月の全景を、C-11では月面南部のボコボコのクレーター群と直線壁あたりを、それぞれ観察して頂いたのですが、皆さん大きな声を上げて感激しておられました。その喜びようはこちらが想定していたのを大幅に超えていました。県立大の天文部員さん達や小学校の先生方にとっても、参加された皆さん方のこの感動ぶりがとても印象的だったそうです。

望遠鏡の順番を待っている人たちや、観察し終わった人たちを相手に、校庭でも解説を行うと、堰を切ったように次々に質問が出てきました。それに応えながら星々を結んで星座の形を説明したり、星までの距離や連星の話題、ブラックホールのこと、アポロ宇宙船での月世界探査の話など。気がつけば携帯型の拡声装置の電池があつという間に消耗してしまっていたほど、私は、校庭で月や星を観察していた間中ずっとしゃべり続けだったようです。



に、不審そうに校舎の様子を調べていたようです。

#### ※☆※☆ 開催することになったいきさつ ※☆※☆

発端は県立大天文部の部長さんから頂いた1通のメール。「星を見たいのだが望遠鏡もなくスキルも不十分、望遠鏡を持参して学内の広場で星の観察会を開いてもらえないか?」という内容での問い合わせでした。もちろん私は「OK!」したのですが、大学側が何を勘違いしたのか学内の広場を使用する許可を出してくれませんでした。

部長さんからは、「仕方がないのでどこか市内の公園などで開催できないか」と要望されました。聞けば「車を持っている学生があらず、公共交通機関が使える場所にして欲しい」という条件。「夜の星見」にはなかなか厳しい制約です。その時、「託麻南小学校なら、大学に近いし、以前観察会を実施したことがある」と想い出しました。

それで、「私が講師をするから、君たちも少し手伝って、託麻南小の子供達と一緒に楽しんだら、どう?」と持ちかけてみたわけです。部長さんは天文部のメンバーに提案して、湧き上がってくるいくつもの疑問を解消し続けたようです。一方で、私は託麻南小に電話をかけ、星の観察会を開きませんか?と提案。教頭先生や4年生の学年主任さんのご力強いご協力が得られて、計画が進みました。開催日や時間帯などあおよその日程が決まったところで県の環境センターに連絡し、「環境教育指導者派遣制度」の利用を申請して頂きました。

こんなふうに、大勢の方々の努力と協力があつて実現したイベントです。

頻繁にメールで打ち合わせしながら、いくつもの疑問を解消しつつ「星の観察会」にこぎ着ける、こんな開催の仕方は初めてですが、その割にはうまく行ったと思います。当日もお天気の変化が激しかったにもかかわらず、運営はかなりスムーズに行つたし。県立大天文部の部員さん達も、積極的にチャレンジして下さって、託麻南小側の受け入れ体制も良かつたし、3者にとってとても良い経験になったと思います。

### **意外な収穫?**

最後に分かったのですが、驚いたことにこの日参加した県立大天文部の部員さんの中に、この託麻南小の出身者がいたのです。自分の出身校で、ずっと後輩にあたる子供達に「星の観察」を支援したわけですね。いやーーー!なかなか良い「つながり」ですよね!!

それを知った託麻南小の先生達が、とっても感動して下さったことはいうまでもありません。

さらに、もう一つあまけが! 「星の観察会」に参加していた保護者の中に、県立大の教授がいらっしゃったのです。開会行事の時、「開催に到つたいきさつ」が紹介されるのを聞いて驚かれたようです。学生さん達が校庭の望遠鏡の側で誘導係を務めているところへ近寄ってきて、「これ、なかなか良いじゃない」と、声を掛けて下さったのだそうです。これには、天文部の学生さん達も大喜び!でした。

### **そして、もうひとつ**

後日、大学から「学内誌にインタビュー記事を掲載したい」と連絡が入ったそうですから、これをきっかけに、今後の展開が期待できるかも知れません。大学内の広場で学生さん向けの「星の観測会」が開けるようになると嬉しいですね。

**9/19(木) 県立大学天文部の合宿で  
星の観察会 を 開催  
月の観察や写真撮影を楽しんでもらい  
星空を背景に、記念写真の撮影にも挑戦!!**

### **そよ風パークで**

9/13(金)に、託麻南小で「星の観察会」を開いた次の週、19日(木)は、県立大学天文部の「合宿」で「星の観察会」でした。場所は、上益城郡山都町(旧蘇陽町)のそよ風パーク。ずいぶん前に県民天文台でも「合宿」をしたことのある場所です。温泉やコテージがあり、

広い芝生のグラウンドもあります。阿蘇外輪山の南麓にあって標高が600mありますから、空気も澄んでいて星がよく見える環境です。

県民天文台が合宿をした頃は、敷地内のあちこちに街路灯があって、一晩中煌々と灯りがともり星を見るのには邪魔でしうがなかつた（但し、その夜は雨だった）のだそうですが、今では「経費節減」のためか、ほとんどの街路灯が消えていて、それなりに良い環境になつていました。



### 参加した学生は5名

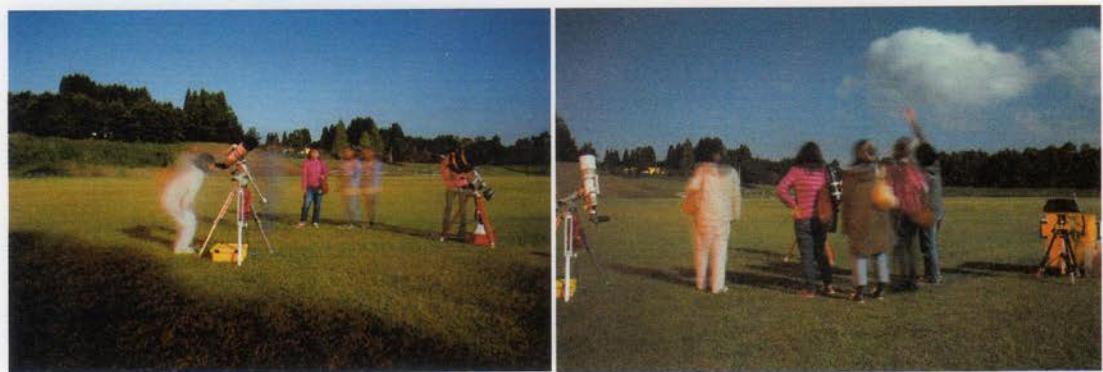
合宿を計画した当初は、20名以上参加するはずだったらしいのですが、なぜか当日の参加は5名に減ってしまったとのこと。人数が少ないので残念ですが、その分たっぷりと楽しんでもらおうと考えました。

17時頃には現地に到着し、すぐに遠鏡の組立をしました。そして、18時から夕食会。託麻南小の観測会のことなどで話が盛り上

がりのんびりと夕食会を楽しんだものだから、芝生の広場に戻った頃には、金星や土星があつという間に南西の木立の中に消えて行こうとするので、あわてて望遠鏡を向け観察してもらいました。当夜は、「満月」です。それでも、月が東の地平線から昇ったばかりの頃には、南に見える「いて座」から頭の上の「夏の大三角」にかけて、うっすらと天の川が見えたので、これには驚きました。

### 天体の観察と写真撮影

その後は、明るい星の名前を解説したり、星座物語を紹介したり、ブラックホール(はくちょう座X-1)の在処をレーザーポインターで示し、望遠鏡でも観察してもらったりしました。C-11でWWスターだけでなくM27やM57がしっかり見えたのにも驚きました。



そのうちに月が少し高く昇ったので、12cm屈折とC-11とで月面の観察をし、当然のようにデジカメや携帯を使っての写真撮影会も実施。それぞれ、ベストショットが撮れたようで喜んでくれました。ついでに、カメラを三脚に載せて、星景写真の撮影にチャレンジしてもらったら、見事な写真が撮れたので大感激のようす。それなら・・・というわけで、部員さん達に横一列に並んでもらい、星空をバックに記念写真を撮影して楽しんでもらいました。

**9/20(金) フィールドミュージアムへ飛びだそう!**

## **中秋の名月 観察と撮影**

今回も、古墳公園の芝生に解説場所を設営して、大勢の参加者に対応しました



### **準備は、草刈から**

熊本市と城南町が合併したあと、古墳公園の管理予算は大幅に減っているようです。そのため、公園の芝生は一気に雑草化していて、背の高い雑草が茂りまくっています。時々芝刈りしてはいるようですが、どうしても雑草が伸びる勢いに追いつきません。今回は大勢の参加が見込まれる中秋の名月を観察・撮影するイベントですから、芝生の広場での解説を予定しています。事前に下見をしたら、どうしても「草刈」をして解説場のスペースを確保しておく必要がありました。猛暑が残っている中、天文台の敷地内と古墳公園の一部とを一人で草刈りするのですからくたびれました。刈り倒した雑草を全部集めるのは断念し、座布団代わり(?)にしてもらあうと、一部分は、刈り倒したままで放置です。

### **電子紙芝居も改訂**

この日の解説のために、Windows 8搭載のタブレットパソコンを導入し、新しい解説も追加して望みました。Powerpoint 2013 を使うので、タッチパネルを操作してプレゼンテーションができるはず、その初めての実演の場でした。

プロジェクターとの接続はあっけないほど簡単で、この分なら、すんなり行きそうだと思っていたら、あれこれ予期せぬトラブルが多発。それもこれも Windows 8 と Powerpoint 2013 と、それに古い形式で保存されている電子紙芝居の番組との組み合わせが原因です。簡単な実験は済ませていたのだけれど、全ての組み合わせを確かめたわけではなかったから、あ

わてました。これは・・・ト・ホ・ホ！です。それでも、新しい機能を使わないで上演するなどの対策を施して、なんとか無事に解説を続けることができました。

前日の夜は蘇陽町で県立大学天文部の「星の観察会」でしたから、さすがにこの夜はくたびれていたようです。それで、いつもより少しだけ力を抜いて解説したかもしれません。でも、観測会に参加した人たち、そんな気軽な雰囲気をむしろ楽しんでいるかのようでした。

芝生の広場から天文台の2階の観測室へと移動して、最初は金星の観察などを楽しんでいましたが、月が少し高く昇ると、後は月面の観察と撮影に夢中になっていましたね。

中には、「ほら！こんな写真が撮れたよ！」って、わざわざ見せに来る子供もいたんです。そんな仕草や話しかけてくるときの表情からも、参加された皆さん方がどんなに感動したのかが分かります。「ああ、こんなに感動して、これほどまでに喜んでくれているのか?!」、そう感じると、疲れがフッと消えて行くようです。

### ★★★ これからのスケジュール ★★★

#### **10／12(土) 熊本県環境センター 「星の観察会」**

☆☆☆ ~ 環境センターで開催 ☆☆☆

#### **10／27(日) 火の君祭り (屋間の星を探そう！)**

☆☆☆ 10:00 ~ 15:00 塚原古墳公園で開催 ☆☆☆

#### **11／24(日) YMCA学院高等学校 「天文講座」**

☆☆☆ 18:30~20:15 県民天文台で開催 ☆☆☆

#### **11／29(金) 城南公民館講座 「秋の星座観察会」**

☆☆☆ 19:30~ 県民天文台で開催 ☆☆☆

#### **1／22(水) 山鹿市高齢者大学 「星空と宇宙」**

#### **2／28(金) 城南公民館講座 「冬の星空観察会」**

☆☆☆ 19:30~ 県民天文台で開催 ☆☆☆

# 祝ご成婚 鹿釜君

一般公開解説メンバーだった鹿釜君が、就職先の大分で素敵な彼女と出会い、ついにゴールイン！ということで、10月13日（日）、大分での結婚披露宴に、ひげさんと参加してきました。会場に着いてみると、懐かしの元学生メンバー達が・・・しばらくそれぞれの現状報告など。



そうこうしているうちに、新郎新婦登場。

鹿釜君凜々しい！友美さん綺麗！ まずは新郎新婦の挨拶 落ち着いて堂々とした鹿釜君。



新郎新婦の紹介・挨拶の後、来賓挨拶、そして乾杯へと、宴はスムーズに進みまして、おいしいシャンパンでの乾杯の後、各テーブルにビールが運ばれ、さらに料理が運ばれようとした時・・・

なんと大学時代の天文部仲間が全員で  
ビール片手に新郎新婦の席へ。

早っ！どうやら、大学時代の仲間がそろと  
学生モードスイッチが入ってしまうらしい…  
開始早々次々とビールを注がれる鹿釜君。  
それをまた律儀に全部飲み干す鹿釜君…  
(大丈夫か？！)



が、心配は杞憂に終わりました。一通り飲ませ、新郎新婦とちやっかり集団写真に納まった後は、おいしい料理と、鹿釜君の学生時代の伝説で天文テーブルは盛り上がり、そうこうするうちに新郎新婦はお色直し。うん。和装もよかったですけど、洋装もいいねえ。お似合いです。



さらにお色直しをして、キャンドルに点火。



ご両親へのお手紙、花束、etc…etc…もっといっぱい写真撮ったんですけど、この辺で。鹿釜君の人柄が感じられる和やかな披露宴でした。

鹿釜君、友美さん、お二人とも末永くお幸せに！

西嶋



# ☆☆☆ ちょっと一眼

## Poem & Illustration

台風に、ちょっとヒヤッとした10月の始まりでしたが、運よく熊本はコースから外れ、ほっと一息。それにしても、秋の天気が変わりやすいと諺にもなるほどですが、このところ晴れたり曇ったりの猫の目天気です。そして、雨が降らないときにも星はあまりよく見えないという…ちょっと悲しい状態。まあ、あまりにきれいな星空が続きすぎて睡眠不足になるのも困りものですが。

さて、土星はすっかり西に低くなり、一般公開の時間帯に見るのは難しくなりました。これから惑星観望の主役は金星ですね。あまり高くならないままひたすら南に移動している金星ですが、日没が早くなるにつれ、輝きを増して目立つようになってきています。

一方、北東の空には秋から冬にかけての星座が次々と登ってくるようになりました。宮崎の友人宅で見た、デネブからカシオペアにかけての天の川。ああ、こんな風になつているんだなあと実感。昔は熊本でもこのぐらい見えていたんでしょうけどねえ・・・つくづく透明度の良い空がほしいと思います。



## 秋の銀河

川面には たくさん同心円  
誰かが 星を溶かそうとした らしい  
曼珠沙華が 夏の終わりを告げようとしても  
まだ  
半袖Tシャツが 納得しないので

華やかな夏から 煌びやかな冬へ  
橋渡しの季節

てん  
天の川面には 無数の連  
誰かが 泳ごうとした らしい  
微かな 淡い 光の飛沫をあげて  
連なっていく色とりどりの  
あした

(黄色や 橙や 赤が 地上に降りるのは まだか)

精靈船が 零時の空を渡っていく  
秋の銀河はひっそりと  
白い吐息を吐く



By Dio

# 2013年9月の県民天文台

## ～運営日誌より～

開台率 8日／13日=61. 54%

総開台日数 12日

一般来台者数 416名

会員来台数 28名

日付	天気	担当運営	来台数	記 事
5 日 (木)	晴れ	艶島	1人	県文化企画課とフィールドミュージアムの打ち合わせ。
6 日 (金)	くもり	艶島 西嶋 小林 J 高田	18人	城南公民館講座  スピカ・金星・土星・アークトルス・アンタレス  電子紙芝居：アイソン彗星、宇宙花火
13日 (金)	晴れたり曇つたり	西嶋  艶島 県立大学天文部	1人  250人	雲がわいては消える空。金星と月が見えていたので空けたのですがすぐまたぐもりに。 21時になったので閉めようとしたら月がきれいでそこに常連さんが一人。しばらく月面散歩とケータイ撮影を楽しんでいただきました。 その後また雲だらけになってしまったので公開終了。  託麻南小4年生「星の観察会」 月とベガを観察 その他電子紙芝居等
14日 (土)	くもり	西嶋 高田  艶島 中島 小林 M 高田 西嶋	3人	月、アークトルス、ベガ、M57  トーケアバウト 星屑発送
15日 (日)	晴れ／くもり	艶島小林 M	4人	アークトルス、金星、土星、ベガ、WW、月
17日 (火)	晴れ	艶島		草刈り（フィールドミュージアム用に）

日付	天気	担当運営	来台数	記事
18日 (木)	快晴	西嶋小林J	15人	中秋の名月&満月ということで特別開台 土星、月、アンドロメダγ とにかく月が明るい。透明度よく星は見えていますが、悲しいぐらいシーアイング悪し。 それでも、月の観望・撮影で大満足の様子でした。
20日 (金)	快晴	艶島 中島 小林J西嶋 高田	68人	フィールドミュージアム 月、金星、月の撮影会 大賑わいでした。
21日 (土)	くもり →晴れ	中島 島浦	35人	アークトゥルス、土星、月、アンドロメダγ、 M57,h-χ 出足も早く途切れることなくお客様が来台。とにかく賑わいました。 帰ろうとしたら2人ずれの若者が。天体写真を撮っていたそうで、結局12時頃まで楽しく過ごしました。透明度が良くなりました。
22日 (日)	雨のち晴れ	艶島	4人	M22,月、アンドロメダ星雲 月の撮影！大きな月が出ていて、濃い霧も発生したのにアンドロメダ星雲が見えて大喜びしてくれました。
23日 (月)	晴れ	艶島	10人	土星、金星、M22,アンタレス、M20,M21,M27 アルタイル、M31・・・ 天の川が見えた。
27日 (金)	くもり	小林J高田	7人	金星、土星、M31,M32,M23,M13,M92,M110,M57 アンタレス、ベガ、アンドロメダγ

## B 5 のたわごと

いよいよアイソン彗星(C/2012 S1)が見られる時期になってきましたね。ベテランの方々からは、「前から見えてるよ」と怒られますが、素人の私では無理でした。そんな私でも見られるようになってきているので、早起きして見てみようと考えております。心配なのは、晴れてほしいのと…、早起き出来るかなあという…。(^-^;)

### ☆ 11月の天文現象＆行事☆

- 1日（金） 金星が東方最大離角 (16:59 -4.4等、視直径25.0")  
11月上旬は、おうし座流星群が活動中  
城南町文化祭で星の観察会 ~3日まで
- 2日（土） 水星が内合 (03:25 5.7等 視直径10.0")
- 3日（日） 新月 (21:50) アフリカ方面で金環・皆既日食
- 5日（火） おうし座南流星群が極大の頃
- 7日（木） 土星が合 (0.6等 視直径15.2")  
立冬(りつとう)… 冬の始まりで、これより次第に冷気深くなる)
- 9日（土） トーケアバウト (20:00~ 天文台にて 変更の場合もあります)
- 10日（日） 上弦 (14:57)
- 12日（火） おうし座北流星群が極大の頃
- 17日（日） 18日にかけて、しし座流星群が極大の頃
- 18日（月） 満月 (00:16) しし座流星群が極大  
水星が西方最大離角 (11:22 -0.5等、視直径06.7")  
アイソン彗星(C/2012 S1)が、スピカに接近
- 22日（金） エンケ彗星が近日点通過 (周期3.3年 7.9等)  
小雪(しょうせつ)… 寒気つわり、雨凍って雪となるという意味)
- 24日（日） 明け方の東天で水星、土星、アイソン彗星、エンケ彗星が接近  
YMCA学院高校「天文講座と星の観察」(天文台で)
- 25日（月） アイソン彗星とエンケ彗星が接近
- 26日（火） 下弦 (04:28)
- 29日（金） アイソン彗星(C/2012 S1)が近日点通過 (01:52)  
海王星が東矩 (03:46 7.9等、視直径02.2")  
城南公民館講座「秋の星空観察」(天文台で)

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2013年11月号 通巻464号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226

熊本県熊本市南区城南町塚原2016番地 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01700-5-105697

NPO熊本県民天文台事務局

天文台ホームページ <http://www.kcao.jp/> メールアドレス astro@kcao.jp

メーリングリストの加入申し込み受付中 kcaohige2003@yahoo.co.jp 中島まで